

公明党千葉市議会議員団



介護ロボットの活用促進で介護環境の改善を

介護ロボットの活用は、介護分野の人材確保、質の改善、労働環境の改善に資すると考える。介護ロボットや介護器材の導入に対する情報収集や情報発信などの、普及に向けた取り組みを伺う。

また、介護ロボット等を開発する工学技術を、いち早く高齢者や介護現場のニーズを踏まえたものにするため、介護現場をロボット機器開発の実証の場にしていこうとする取り組みがある。本市も、介護施設と開発意欲のある企業とのマッチングを促進すべきと考えるが見解を伺う。

国の外郭団体であるテクノエイド協会などが発信する技術開発の情報収集に努める一方、同協会の講師による講演会を開催したほか、介護施設の職員に、同協会主催の研究会に参加していただいている。

介護現場への導入と開発のマッチングについては、介護力不足を補うための有力な手段として、介護ロボットを普及させる方針を定めるとともに、国の補助制度を活用して、ロボットの導入費用を介護施設などに助成する

事業を実施する予定であるほか、介護現場のニーズに即した介護ロボットを適切に選択できるようにポータルサイトを開設している。

旧市立病院跡地の利活用は

旧市立病院跡地の利活用については、遅々として進まない対応に市民から疑問の声があり、これまでも市民の皆様、きちんとした具体案を提案すべきと要望してきたところである。今年度、庁内の跡地利用要望調査が行われたとのことだが、利活用の検討状況を伺う。

検討した結果、新たに青葉病院の患者用臨時駐車場として活用するほか、市道中央星久喜町線を千葉大学



旧市立病院跡地の位置

亥鼻キャンパス側へ拡幅するための代替地とすることとした。なお、旧院内保育所跡地は、病院跡地よりも約3メートル程度低いことから、一体活用が見込めないため、売却して解体撤去費等の財源に充てる。

防犯街灯にもLED化を

環境に優しい低炭素社会構築の取り組みとして、これまでも防犯街灯のLED化事業を求めてきたところであるが、どのように取り組んできたのか。

また、LED照明灯の設置完了までのスケジュールについて伺う。

本事業は、電気料金の負担軽減と環境負荷軽減のために実施するもので、10年間のリース契約で行う。昨年5月から全自治会等を対象とした説明会などの準備を進めてきた結果、対象となる団体の全て、灯数では約4万9,000灯をLED化することとなり、本年2月に受託者を決定した。

今後は、現地調査を行い、自治会ごとの工事スケジュール等を作成し、4月以降、順次設置工事を行い、平成28年度末には全て設置を完了する予定である。

日本共産党千葉市議会議員団



安保法制下での自衛隊の危険性への見解は

安保法制(戦争法)に関して、市長は市自衛隊協会の会長を務め、自身のブログでも「会員500人達成に向けて積極的に会員獲得に取り組むことなどを確認しました。皆様ご関心のある方は是非。」と述べているが、自衛隊員募集についても、ブログで述べた認識と同じか。また、任務拡大により、自衛隊が海外で加害者・犠牲者となる危険性が高まっているが、市長は平和安全法制を憂慮しているのではないのか。

自衛隊法や同法施行令で、市町村長は自衛官や候補生の募集に関する事務の一部や広報宣伝を行うとされており、これらに基づき適切な事務の執行に努める。先の国会での平和安全法制の成立は残念だが、政府は、自衛隊の危険は高まらないと答弁していることから、その実現に向け、しっかりと対応していただきたいと考える。

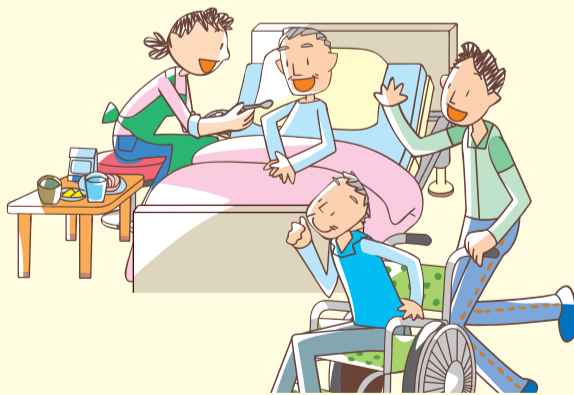
注 戦争法：安保法制を市民団体等が主張しているもの。

介護職員の確保は

急速な高齢化に、介護基盤の整備は待ったなしの課題だが、介護職員の確保が問題となっている。市内では、

開所後3年経っても施設の定員に見合った必要な職員が確保できず、定員まで入所できない施設もあるが、新年度に開所する特別養護老人ホームの職員確保の見通しは。また、介護人員不足解消のために介護報酬の抜本的な引き上げの国への要望や、市独自の職員待遇改善を求めるが見解は。

本年4月に稲毛町5丁目、6月には真砂2丁目に定員各80人の施設が開所予定だが、職員確保の目途はついている。介護報酬については、大都市共同で適切な単価の設定を国に要望している。また、昨年4月の介護報酬改定で、処遇改善加算が拡充され、介護職員1人あたり月額平均12,000円相当の加算が行われたため、市独自の補助は考えていない。



新年度予算では市民生活福祉の向上を

新年度予算では、格差社会で厳しい生活を余儀なくされる市民への早急な対策を求める。

また、千葉駅周辺活性化等のハード事業のうち、不要な事業を中止したり、急がなくて良い事業を後回しにしたりすることで、敬老祝金の復活、国民健康保険料の引き上げの中止、白内障補助眼鏡等費用助成の見直し、福祉タクシー等の所得制限導入検討の中止、民間保育園補助金見直しの中止を実現するなど、市民生活福祉の向上に振り向けるよう求めるが見解を伺う。

生活困窮者への支援として、生活自立・仕事相談センターを運営し、また新たに、住居を失った方への一時的な宿泊場所の提供を行い、自立促進を図るとともに、子どもの貧困対策を総合的に推進するための計画を策定するなど、支援の充実を図る。

また、国民健康保険料は、増加する医療費に対応するため必要最小限度の見直しを行うとともに、真に支えを必要とする方へ支援を行うため、効果の薄れた事業などを見直した。

なお、公共事業は、本市活力の維持・向上の観点から、必要性や緊急性を勘案し推進している。

用語解説

※1 PFI (プライベート・ファイナンス・イニシアティブ) 公共で行う事業において、その設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用して行うこと。民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図ること。

※2 LGBT 「L」レズビアン/「G」ゲイ/「B」バイセクシュアル/「T」トランスジェンダーの頭文字をとったもので、同性を好きになる人、心と体の性別が一致しない人などの性的少数者の総称。

\*自由民主党千葉市議会議員団は、平成28年4月1日付けで松坂吉則幹事長に変更となりました。
\*千葉市議会無所属の会は、平成28年4月1日付けで会派を解消しました。
\*未来民進ちばは、平成28年4月7日付けで未来民主ちばから会派名を変更しました。